

## 有価証券運用サービスの拡充に関するお知らせ

ソニー銀行株式会社(代表取締役社長兼CEO:石井 茂/本社:東京都千代田区/通称:ソニーバンク)は、100%子会社のソニーバンク証券株式会社(代表取締役社長:杉浦 康浩/本社:東京都千代田区/以下 ソニーバンク証券)との金融商品仲介サービスにおいて、**携帯電話、およびパソコンからのお取り引き機能を強化し、有価証券運用サービスを拡充します**のでお知らせいたします。

**携帯電話からのモバイルバンキングサイトでは、1月18日(月)より、株式取引のモバイルサービスを開始します。**これにより、外出中などでパソコンを利用できない場合でも、株式などの現物取引と信用取引のご注文、株価のご確認などを、携帯電話から行うことが可能となります。

また、**パソコンからのインターネットバンキングサイトでは、2月1日(月)に、ログイン後の金融商品仲介サービス画面を改訂し、投資判断に必要な情報を使いやすく集約した「株式投資情報」の提供を開始します。**企業名や銘柄コードがわからなくても商品名などのキーワードで候補銘柄を検索できる機能や、お客様の関心が高い株主優待を写真付きで視覚的に表示する機能を実装しています。さらには、保有銘柄や気になる銘柄と同じ画面上で関連ニュースなども一覧できるので、日々の残高や株価のチェックを簡単に行えます。なお、「株式投資情報」の提供開始に伴い、これまでソニーバンク証券が提供してきました資産運用ツール「Stock Gear」は、2月1日(月)をもって終了いたします。

ソニーバンクとソニーバンク証券は、引き続き利便性と質の高いサービスの提供に努め、お客様の幅広い資産運用のニーズにお応えしてまいります。

### ■「株式投資情報」の主な特徴

- **銘柄探し・検索が使いやすい**  
キーワードによる銘柄検索に加え、株主優待内容や投資予算別などの検索も可能です。
- **銘柄情報がシンプルでわかりやすい**  
シンプルかつ視覚的に必要な情報を厳選した画面から、直接売買のご注文が可能です。
- **保有銘柄や気になる銘柄の管理が簡単**  
保有銘柄やウォッチリストと一緒に、株価やチャートのほか、関連ニュースも一覧で表示します。

※掲載画面は開発中のサンプル画面のため実際の画面とは異なる場合があります。

### ▼ 株式投資情報画面(トップ)



以上

ソニーバンクのサイト | 企業サイト <http://sonybank.net/> サービスサイト <http://moneykit.net/>

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号 加入協会:日本証券業協会、社団法人 金融先物取引業協会  
ソニーバンク証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1628号 加入協会:日本証券業協会  
©Sony Bank Inc. MONEYKitはソニー銀行株式会社の登録商標です。

### 報道関係の方からのお問い合わせ先

#### ソニー銀行株式会社

経営企画部 広報担当:渡辺・延元(ノブモト)  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目26番地  
Tel 03-6832-5903 Fax 03-3292-9352  
press@sonybank.co.jp

### お客さまからのお問い合わせ先

カスタマーセンター **0120-365-723**(フリーダイヤル) ※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。  
フリーダイヤルをご利用いただけない場合は **03-6730-2700**(通話料有料) ※番号をお間違えにならないようにくれぐれもご注意ください。  
※IP電話をご利用の場合、ご入力内容が確認できない場合がございます。

【各種パスワード、各種手続き(口座開設、諸届、お振り込みなど)に関するお問い合わせ】

平日/9:00~23:00 土・日・祝日(12月31日~1月3日を含む)/9:00~17:00

【各種商品に関するお問い合わせ】 平日/9:00~20:00 土・日・祝日(12月31日~1月3日を含む)/9:00~17:00

※年中無休(システムメンテナンス時を除く)

【金融商品仲介に関するお問い合わせ】 平日/8:30~17:00(土・日・祝日および12月31日~1月3日は休業)

【ご参考】

■ 「株式投資情報」 画面イメージ

◇ 保有銘柄&ウォッチリスト



売買目標株価を「買おかなライン」「売ろうかなライン」として登録することも可能です。

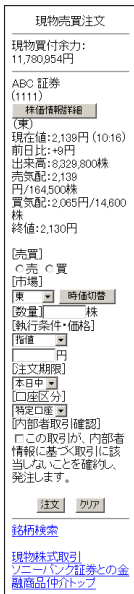
◇ 個別銘柄情報



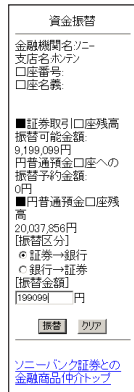
お客様の関心の高い株主優待について写真付きで表示します。

■ モバイルサービス 画面イメージ

◇ 売買注文



◇ 資金振替



※掲載画面は開発中のサンプル画面のため実際の画面とは異なる場合があります。

■ モバイルサービスでご利用いただける機能

機能	内容
現物株式のご注文	現物株式の注文とリアルタイム株価の照会を行うことができます。
信用新規のご注文	信用新規の注文とリアルタイム株価の照会を行うことができます。
ご注文内容の照会/訂正/取消	注文状況の照会、注文の変更・取消を行うことができます。
お預かり株式の一覧	お預かり株式の照会を行うことができます。
信用建玉の一覧/信用返済/品受品渡	建玉の状況の照会、決済注文を行うことができます。
約定照会 (本日分)	当日分の約定を照会することができます。
資金振り替えのお取り引き	資金スweepサービスをご利用されていなくても、リアルタイムでソニーバンクの円普通預金口座とソニーバンク証券の証券取引口座の間で入出金を行うことができます。
注文履歴	10営業日間の注文の履歴を照会することができます。
約定履歴	1ヶ月間の約定の履歴を照会することができます。

※ソニーバンク証券との金融商品仲介は、ソニーバンク証券を委託証券会社としており、お客さまのお取り引きの相手はソニーバンク証券となります。

※ソニーバンクは注文のお申し込みを受け付け、ソニーバンク証券が注文を執行します。

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。お取引の際には、必ず以下の内容および、サービスサイト上の「[契約締結前交付書面](#)」をご確認のうえ、ご自身で投資判断を行っていただきますようお願いいたします。

## (1) 金融商品仲介の重要事項 (共通)

### 1. 有価証券のリスク

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券には、それぞれ以下のリスクがあります。

#### ① 株式のリスク

価格変動リスク	取引市場における相場の変動により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。
信用リスク	発行会社の経営、財務状況の悪化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。
流動性リスク	売買が極端に少ない銘柄を換金する際、希望した価格で売却できないリスクがあります。

#### ② 新興市場のリスク

新興市場で取引される有価証券のリスクには、以下の特徴があります。

価格変動リスク	新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく売買注文も少ないことから、価格変動リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。
信用リスク	新興市場の上場審査は、他の取引市場の上場審査と比べて審査の重点が異なり、経営・財務体質については新興市場に上場している企業は他の取引市場の上場銘柄に比べて弱い場合が多く、信用リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。
流動性リスク	新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく、売買注文も少ないことから、流動性リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

#### ③ ETF (上場投資信託) のリスク

価格変動リスク	投資対象とする株価指数、債券指数、商品価格、商品指数などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。
信用リスク	組み入れを行った株式等の発行会社の経営、財務状況の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。
その他のリスク	株価指数や商品指数に連動する投資成果をあげることを目指して運用を行いますが、組み入れが完全に行われず、それらの指数と一致しなかったり、指数の算出方法の変更や構成銘柄の入れ替えなどの影響により、取引価格と基準価格が一致しないリスクがあります。

#### ④ REIT (不動産投資信託) のリスク

価格変動リスク	投資対象とする不動産価格や収益力などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。
信用リスク	発行会社の経営、財務状況の変化、それらに関する外部評価の変化等、組み入れた不動産価格や収益力の変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。
その他のリスク	関連する税法の運用や将来的な変更によって、当初予定していた投資効果が得られない場合があります。

#### ⑤ 世銀債のリスク

※ソニーバンク証券では「世銀債」のお取り扱いはありません。

価格変動リスク	途中売却の場合、売却時の債券市況の変動により、投資元本を割り込むことがあります。
金利変動リスク	金利の上昇等による債券価格の下落により、投資元本を割り込むことがあります。
為替変動リスク	為替相場の変動により、お受け取り金額が変動し、円換算での投資元本を割り込むことがあります。
発行者の信用リスク	発行者の経営、財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化などにより、元本や利息の支払い能力(信用度)が変化し、投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	流動性の問題から、売却希望後、直ちに売却換金することが困難な場合や売却金額に悪影響が及ぶ場合があります。

## 2. 信用取引のリスク

信用取引は、信用取引の対象となっている株式などの株価の変動などにより投資元本を割り込むリスクがあります。また、信用取引は委託保証金の額を上回る取り引きを行うことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は、差し入れた委託保証金を上回るリスクがあります。

## 3. 預金保険

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券は、預金ではなく預金保険の対象とはなりません。

## 4. 金融商品仲介に関する手数料

ソニーバンクの金融商品仲介においてお客さまがソニーバンクに支払う手数料はありません。ただし、委託証券会社では、お取引引きに応じて別途手数料がかかります。

## 5. お取引引きいただけるか

- ソニーバンクの金融商品仲介のお取引引きは日本国内に居住されている満 20 歳以上のお客さまにご利用いただけます。
- ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券には、元本割れのリスクがあるため、「お客さまカード」に登録された投資目的が「資産運用にあたっては、元本割れのリスクは一切許容せず、資産運用を検討する。」の場合は、お取引引きを制限させていただく場合があります。

## 6. その他重要事項

ソニーバンクの金融商品仲介は、ソニーバンク証券株式会社またはマネックス証券株式会社を委託証券会社としており、お客さまのお取引引きの相手はソニーバンク証券株式会社またはマネックス証券株式会社となります。

<ソニーバンク証券株式会社との金融商品仲介について>

ソニーバンクは、金融商品仲介業務を行う登録金融機関として、ソニーバンク証券株式会社からの委託を受け、証券取引口座開設のお申し込みお手続きの受け付けおよび株式などの売買注文のお申し込みの受け付けを行います。証券取引口座の開設および株式などの売買注文の執行は、ソニーバンク証券株式会社が行います。

<マネックス証券株式会社との金融商品仲介について>

ソニーバンクは、金融商品仲介業務を行う登録金融機関として、マネックス証券株式会社からの委託を受け、証券総合取引口座開設のお申し込みお手続きの受け付け、外国債券、新規公開株式、公募・売出株式のご案内などを行います。

## (2) ソニーバンク証券株式会社との金融商品仲介にかかわる事項

### 1. お取引引き手数料

ソニーバンク証券株式会社におけるお取引引き手数料は、以下の通りとなります。

お取引引き手数料 (株式、ETF、REIT)	約定代金の 0.105% (最低手数料は 840 円)
単元未満株の「買取請求」取り次ぎ手数料	一銘柄につき 525 円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。

- 1 回のご注文ごとに手数料が決まります (約定が複数日に分かれる場合は、その約定日ごと)。
- 1 回のご注文の約定代金が 80 万円までの手数料は 840 円です。
- 1 回のご注文の約定代金が 80 万円超の場合は、約定代金の 0.105% が手数料になります (円未満は切り捨て)。

### 2. 各種お取り扱い手数料

ソニーバンク証券株式会社における各種お取り扱い手数料は、以下の通りとなります。

保護預かり管理料	無料
振り替えによる出庫移管手数料	一銘柄 1,050 円
相続贈与書類精査手数料	一相続人あたり 1,050 円
書面による各種帳票の交付手数料	一種類、一回につき 1,050 円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。



### 3. 信用取引のご説明

#### ◇諸経費

信用取引においては、現物株式の売買と同様のお取り引き手数料のほかに、以下の信用金利・諸経費がかかります。

- 買い方金利(年率) 2.72% 売り方金利(年率) 0.00%
- 貸株料(年率) 1.15%
- 信用管理料 建玉1株(1口)につき10.5 銭
- 名義書換料 売買単位につき52.5 円
- 品貸料(逆日歩)は証券金融会社の株券調達状況などにより決定されるため、その金額などをあらかじめ記載することはできません。

#### ◇委託保証金、最低委託保証金維持率

委託保証金率は33%、最低委託保証金維持率は30%です。

信用取引の注文にあたっては、建玉代金に対し委託保証金率を乗じた額(当該金額が30万円を下回っている場合は30万円)以上の額が必要です。

委託保証金は現金のほか、ソニーバンク証券が定める有価証券で代用できます。この場合、所定の代用掛目で評価換算します。

委託保証金の種類、委託保証金維持率、代用有価証券の掛け目は、金融商品取引所などの規制など、またはソニーバンク証券の判断によって変更される場合があります。

#### ◇返済期日

信用取引において、新規建てした日から6ヶ月目の応答日が弁済期限となりますが、ソニーバンク証券では弁済期限の前営業日が返済期日となります。返済期日までに反対売買もしくは品受、品渡により返済を行うものとします。

なお、弁済期限が当初の弁済期限から繰り上げられることがあります。

### 4. ソニーバンク証券株式会社の加入協会

#### <日本証券業協会>

ソニーバンク証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1628号

### (3) マネックス証券株式会社との金融商品仲介にかかわる事項

#### 1. 各種お取り扱い手数料

##### <新規公開株式、公募・売出株式>

ソニーバンクでは、マネックス証券株式会社で募集中の新規公開株式、公募・売出株式の情報をご案内しています。マネックス証券株式会社の新規公開株式、公募・売出株式についての手数は以下の通りです。

新規公開株式(IPO)	参加費用・購入時手数料は無料です。
公募・売出株式(PO)	参加費用・購入時手数料は無料です。

##### <外国債券>

ソニーバンクでは、マネックス証券株式会社で取り扱っている新規発行の外国債券(発行者は主に世界銀行)の募集状況をご案内しています。

マネックス証券の(1)～(3)のお取り引きの際に、1通貨あたりにかかる手数料は以下の通りです。(2009年8月現在)

詳細につきましては、マネックス証券サイトをご確認ください。

- (1) 外貨建て債券を円でお買い付け
- (2) 外貨で支払われる元金利を円でお受け取り
- (3) 外貨建て債券の中途売却

通貨	手数料(片道)
米ドル	25 銭
ユーロ	50 銭
豪ドル	70 銭
ニュージーランドドル	70 銭
英ポンド	70 銭
南アフリカランド	30 銭
トルコリラ	2 円 50 銭

## 2. その他重要事項

- マネックス証券株式会社で取り扱いの商品に関するお問い合わせは、マネックス証券株式会社のコールセンターに直接お願いいたします。ソニーバンクでは一切お答えすることはできません。
- ご案内しているマネックス証券株式会社の取り扱い商品(新規公開株式、公募・売出株式、外国債券)・サービスおよび手数料は変更される場合がございますので、最新の情報については、必ずマネックス証券株式会社のウェブサイトでご確認ください。

### <外国債券について>

世銀債のご購入方法、ご購入に関する注意点、為替レートなどは、マネックス証券株式会社のウェブサイトでご確認ください。

### <新規公開株式、公募・売出株式について>

- ブックビルディング(需要申告)、ご購入のお申し込みはマネックス証券株式会社のウェブサイトでお手続きください。
- 銘柄の選択、ブックビルディング(需要申告)、ご購入のお申し込み、売買(申告)価格などの投資にかかる最終決定は、マネックス証券株式会社が交付する目論見書の内容をご確認のうえ、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 3. マネックス証券株式会社の加入協会

### <日本証券業協会、社団法人 金融先物取引業協会>

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

ソニー銀行株式会社  
登録金融機関  
関東財務局長(登金)第578号  
加入協会：日本証券業協会  
社団法人 金融先物取引業協会

## 1. お取り扱い商品のリスク

ソニーバンク証券でお取り扱いする商品などには、価格変動などによる損失を生じるおそれがあります。また、信用取引をご利用いただく場合は所定の委託保証金を差し入れていただきますが、委託保証金を超える損失が生じるおそれがあります。

お取り扱い各商品のリスクについては、[金融商品販売法に係る重要事項のご説明](#)をご覧ください。

お取り引きにつきましては、「各種契約締結前交付書面」、「各種約款」、「各種取引ルール」をご覧ください、お取り引きのしくみやリスク、手数料等をご確認ください。

## 2. お取り引きいただけるかた

ソニーバンク証券のお取り引きは日本国内に居住されている満20歳以上のお客さまにご利用いただけます。

ソニーバンク証券でご案内する有価証券には、元本割れのリスクがあるため、「お客さまカード」に登録された投資目的が「資産運用にあたっては、元本割れのリスクは一切許容せず、資産運用を検討する。」の場合は、お取り引きを制限させていただく場合があります。

## 3. お取り引き手数料

ソニーバンク証券株式会社におけるお取り引き手数料は、以下の通りとなります。

お取り引き手数料(株式、ETF、REIT)	約定代金の0.105% (最低手数料は840円)
単元未満株の「買取請求」取り次ぎ手数料	一銘柄につき525円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。

- 1回のご注文ごとに手数料が決まります(約定が複数日に分かれる場合は、その約定日ごと)。
- 1回のご注文の約定代金が80万円までの手数料は840円です。
- 1回のご注文の約定代金が80万円超の場合は、約定代金の0.105%が手数料になります(円未満は切り捨て)。

## 4. 各種お取り扱い手数料

ソニーバンク証券株式会社における各種お取り扱い手数料は、以下の通りとなります。

保護預かり管理料	無料
振り替えによる出庫移管手数料	一銘柄1,050円
相続贈与書類精査手数料	一相続人あたり1,050円
書面による各種帳票の交付手数料	一種類、一回につき1,050円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。

## 5. 信用取引のご説明

## ◇ 諸経費

信用取引においては、現物株式の売買と同様のお取り引き手数料のほかに、以下の信用金利・諸経費がかかります。

- 買い方金利(年率) 2.72% 売り方金利(年率) 0.00%
- 貸株料(年率) 1.15%
- 信用管理料 建玉1株(1口)につき10.5銭
- 名義書換料 売買単位につき52.5円
- 品貸料(逆日歩)は証券金融会社の株券調達状況などにより決定されるため、その金額などをあらかじめ記載することはできません。

## ◇ 委託保証金、最低委託保証金維持率

委託保証金率は33%、最低保証金率は30%です。

信用取引の注文にあたっては、建玉代金に対し委託保証金率を乗じた額(当該金額が30万円を下回っている場合は30万円)以上の額が必要です。

委託保証金は現金のほか、ソニーバンク証券が定める有価証券で代用できます。この場合、所定の代用掛目で評価換算します。

委託保証金の種類、委託保証金率、代用有価証券の掛目は、金融商品取引所などの規制など、または当社の判断によって変更される場合があります。

## ◇ 返済期日

信用取引において、新規建ての日から6ヶ月目の応答日が弁済期限となりますが、ソニーバンク証券では弁済期限の前営業日が返済期日となります。返済期日までに反対売買もしくは品受、品渡により返済を行うものとします。

なお、弁済期限が当初の弁済期限から繰り上げられることがあります。

## 6. ソニーバンク証券株式会社の加入協会

<日本証券業協会>

ソニーバンク証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1628号

「金融商品の販売等に関する法律」により、お客さまに金融商品を販売するに当たって、価格変動リスクや信用リスクを直接の原因として元本が欠けるおそれがあるときはその旨を、また、権利行使や契約解除の期間の制限があるときはその旨を、当該金融商品に係る重要事項として説明することが義務付けられています。

ソニーバンク証券（以下、「当社」という）の取扱商品にかかる重要事項は次の通りです。これらのリスクによる損失はお客さま自身にご負担いただきますので、お客さまにおかれましては以下の内容を十分にご理解のうえ、お客さまのご判断と責任においてご投資ください。

## 国内株式

### 1. 価格変動リスク

取引市場における相場の変動により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。

### 2. 信用リスク

発行会社の経営、財務状況の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。

国内株式のうち新興市場上場株式には、それぞれのリスクについてさらに以下の特徴があります。

#### 1. 価格変動リスク

新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく売買注文も少ないことから、他の取引市場の上場銘柄に比べて価格変動リスクが高いといえます。

#### 2. 信用リスク

新興市場の上場審査は、他の取引市場の上場審査と比べて審査の重点が異なり、経営・財務体質については新興市場に上場している企業は他の取引市場の上場企業に比べて弱い場合が多く、信用リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

#### 3. 流動性リスク

新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく、売買注文も少ないことから、流動性リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

## 当社でお取り扱いする新興市場上場株式のお取り扱いについて

### ◇ 東京証券取引所マザーズ上場銘柄

マザーズ (Mothers [Market of the high-growth and emerging stocks]) とは、1999年11月に、東京証券取引所があらたに開設した市場です。高い成長が期待される事業やあらたな技術・発想に基づく事業を行う成長可能性を秘めた企業に資金調達の機会を与えるとともに、投資家にあらたな投資物件を提供することを目的にしています。

マザーズでは、東証一部・二部市場のように設立経過年数や利益の額などの基準は設けられていませんので、設立後間もない企業や財務基盤の発展途上にある企業の上場も可能となっています。その一方で、法定開示に加えて、四半期業績の開示や年二回以上の会社説明会の開催が義務づけられています。既存の上場会社より高いディスクロージャーを要求し、透明性の確保にも配慮がなされています。

このようなマザーズの特徴をよくご理解いただいたうえで、上場会社が公表する各種の開示資料（目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書等の法定開示書類や四半期ごとの財務・業績概況やその他の適時開示資料等）をよくご覧いただき、お客さまのご判断と責任においてご投資ください。

### ◇ 大阪証券取引所ヘラクレス上場銘柄

ヘラクレスとは、これからの成長性が期待できる新興企業等にあらたな資金調達をすることを目的とし、大阪証券取引所で運営される市場のことです。財務基盤等が一定条件以上の企業を対象とする「スタンダード」と、事業規模は小さいが潜在的成長性に富んだ新興企業を対象とする「グロース」の二つの基準があります。

ヘラクレスでは、上場会社に対して投資判断に影響を与えるような重要な事実をタイムリーに開示するように義務付けており、四半期での業績等の開示やコーポレートガバナンスの状況開示など投資家の投資判断に必要な情報の提供を行っています。

ヘラクレス市場上場銘柄へのご投資にあたっては、市場の特徴を充分ご理解いただいたうえで、お客さまご自身のご判断でご投資ください。



## ETF（上場投資信託）

### 1. 価格変動リスク

投資対象とする株価指数、債券指数、商品価格、商品指数などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

### 2. 信用リスク

組み入れを行った株式などの発行会社の経営、財務状況の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

### 3. その他のリスク

株価指数や商品指数に連動する投資成果をあげることを目指して運用を行いますが、組み入れが完全に行われず、それらの指数と一致しなかったり、指数の算出方法の変更や構成銘柄の入れ替えなどの影響により、取引価格と基準価格が一致しないリスクがあります。

## REIT（不動産投資信託）

### 1. 価格変動リスク

投資対象とする不動産価格や収益力などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

### 2. 信用リスク

発行会社の経営、財務状況の変化、それらに関する外部評価の変化等、組み入れた不動産価格や収益力の変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

### 3. その他のリスク

関連する税法の運用や将来的な変更によって、当初予定していた投資効果が得られない場合があります。

## 信用取引

### 1. 価格変動リスク

信用取引を行うにあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等の価格や評価額の変動に伴い、信用取引の対象となっている株式などの価格が変動することによって、損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差し入れた保証金の額を上回るおそれがあります。

### 2. 信用リスク

信用取引の対象となっている株式などの発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況の変化が生じた場合、信用取引の対象となっている株式などの価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差し入れた保証金の額を上回るおそれがあります。

### 3. その他のリスク

信用取引を行う場合、委託保証金を担保として差し入れていただきますが、委託保証金の種類、委託保証金率、代用有価証券の掛け目は、金融商品取引所などの規制など、または当社の判断によって変更される場合があります。

信用取引により売買した株式などのその後の値動きにより計算上の損失が生じたり、代用有価証券の価格が値下がりすることなどによって、最低保証金維持率を下回ることとなった場合は、不足額を所定の日時まで当社に差し入れていただく必要があります。

信用取引には弁済期限があります。上場廃止・株式併合・株式分割・合併・株式交換・株式移転・会社分割減資・種類株付与・新株予約権付与などの措置がとられた場合、弁済期限が当初の弁済期限から繰り上げられることがあります。

信用取引で売付けを行った場合は品貸料（逆日歩）が発生することがありますが、証券金融会社での株式などの調達に困難な場合、高額な品貸料が発生するおそれがあります。

二階建て（代用有価証券と同一銘柄を信用取引で買付けしている状態）の場合、当該銘柄が値下がりすると委託保証金率が急激に悪化するおそれがあります。

以上